

かがやき

発行責任者 赤井 敏博
文責 中野 敦子

○今年も残り1ヶ月となりました。

例年のごとく、篠山は底冷えする季節を迎えました。各教室にもストーブが入り、赤旗を目印にスイッチを入れる日が多くなりました。朝には布団から出にくくなっている人もいますが、まだまだ寒さはこれからです。しっかり健康管理をして元気に過ごしたいですね。



○12月4日(日)から10日(土)は人権週間。

1948年、国連総会で「世界人権宣言」が採択され、これを記念して採択日である12月10日を「人権デー」と定めています。

篠山市では、明日12月3日(土)12:10～「篠山市人権・同和教育研究大会」が四季の森生涯学習センターで開催されます。篠山産業高校吹奏楽部の演奏や人権作文受賞者の表彰と最優秀作文の朗読、感謝の手紙の展示などがあります。近くなので足を運んでみてくださいね。何か心に響くことがあるかもしれませんよ。

丹南中学校では**毎日が人権の日**、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、支え合える、ちょっとした心配りや工夫で温かい学校を築いていきたいですね。実現させていきたいですね。



○人権作文から考えてみましょう。

夏休みの人権作文は、様々なテーマでしっかり考えてとりくむことができました。その中で、丹南中学校からは2年生の家谷日和(いえたにひより)さん、1年生の大前莉子(おおまえりこ)さんの2名が、丹波・篠山地区の優秀賞に選ばれました。今回は家谷さんの作文を掲載します。地域での高齢者訪問活動を通して学んだことが書かれています。読んでみてください。

今私にできること

2年 家谷 日和

最近の日本では「高齢化社会」が進んでいます。2013年の国の調査によると、65歳以上の高齢者人口は3190万人になり、全体の約25パーセントにも増えていることが分かりました。高齢者が全体の4人に1人の確率だということに衝撃を受けました。一方、都会に働きに行っている大人も多いため、社会人

が少ない地域と多い地域の差があります。そして、高齢者で一人暮らしをしている人もたくさんいると私は感じました。私の住んでいる地域では、高齢者が亡くなり、翌日まで気付かれなかったということがありました。人はいつ何が起きるか分かりませんが、出来るだけ早く気付けるように出来ないのかと思いました。

そこで私は、自分に何かできないかと考え、一人暮らしの高齢者の方とだけでも、少しずつですが、コミュニケーションをとっていくことにしました。ほんの少しずつでも、子供と高齢者とのコミュニケーションは大切だと思いました。

私は母と一緒に、小学5年生の時から「一人暮らしのお年寄り訪問プロジェクト」を続けています。最初は月に1回を目標にして訪問していましたが、中学生になってから、訪問の回数が減ってしまいました。それでも、続けることに意味があるので、訪問はやめないようにしたいです。

訪問する時には、一つの紙に季節ごとの病気の予防の仕方や、健康に過ごすために注意しないといけないことなどをまとめて配っています。そして、高齢者の方一人一人と出来るだけたくさん話せるように、いつも心がけています。高齢者の方も登下校中に声をかけて下さったり、喜んで下さったりしているので、これからもこの活動を続けていこうと思います。

私は自分の住んでいる地域の中でしか訪問をしていませんが、他の所でもこのような高齢者の方々とコミュニケーションをとれるようなことが広がれば良いなと思います。中学生などの子供と高齢者とがコミュニケーションをとることで、普段の生活も変わっていくと思います。

普段からのあいさつなどをしっかりして、年代関係なく、関わっていけるようにしたいです。

高齢者の訪問を始めてから4年目です。始める前までは、たまに見かけるだけで、滅多にコミュニケーションをとる機会なんてありませんでした。一人暮らしの方は外に出ることがあまりないそうなので、出会ったことがない方も何人かいました。

しかし、4年たった今、訪問する前よりたくさん話して下さる方や、すれちがったら毎回声をかけて下さる方もいます。そして、家の前にかざって下さったり紙を全てファイルにとして残して下さったりして、私自身もとても嬉しく、訪問を始めて良かったなと感じることが出来ます。

これからも、高齢者の方だけでなく、老若男女関係なく笑顔になれるように日々の生活やボランティアなどを積極的にしていきたいと思っています。

高齢化社会が進んでいるこの日本では、一人暮らしでたとえ同じ地域に住んでいても、関わりが少ない方もいると思います。しかし、一人一人があいさつなどの日々のちょっとした行動で、少しずつ関わりを深めていくことが必要だと強く感じました。

